

令和2年度 連携型中高一貫教育 実施報告

<美濃地区> 白鳥中学校 郡上北高等学校

1 連携型中高一貫教育の目標とその達成に向けた具体的な取組

(1) 連携型中高一貫教育の目標

不撓不屈の郡上人



☆「おかげさま、なにくそ」の心でやり抜く子
☆高い志をもち、ひたむきに努力する子

郡上の人々は、古くから「不屈の精神」「感謝の気持ち」でふるさとを切り拓いてきた。この伝統を受け継ぎ、「確かな学力」「共に生きる力」「自立する力」の3つを育むことを通して、「新しい未来に向かって、郡上を愛し郡上を支える子」を育てたい。

(2) 連携型中高一貫教育の令和2年度の重点

- 授業における「学びでのつながり」と活動における「貢献でのつながり」のさらなる充実を図るために、単位制普通科となり新たな4コースを設置したことを踏まえながら、さらにはキャリア教育の授業支援の実施方法や時期・活動の在り方について検討する。
- 生徒による授業支援の計画・実施を通して、小中高の12年間を見通した系統的な学びの在り方について模索する。

2 目標達成に向けた具体的な取組における成果と課題

目標	取組	成果と課題
確かな学力の育成	学習指導	<ul style="list-style-type: none">○高校の教員から学ぶことで高校での学びに対する不安を払拭し、今の学びに前向きに取り組もうとするきっかけになった。○生徒の学習姿勢や生活態度などを把握することができ、担当教員が中高での橋渡しの役割を果たすことができた。○高校教員による出前講座は中学生から好評で学習内容の系統性や教科の専門性を中学生が感じる機会にできた。 (国語・英語・数学・商業で実施)▲「夏休み学習会」は新型コロナウイルス感染症の影響から実施できなかったが、次年度は事前に担当者間での打ち合わせを密にして実施したい。▲出前講座の実施時期は9月末頃を予定し、来年度に改めて時期を検討する。  <p>【高校教員の出前講座】</p>
	授業参観と授業研究会	<ul style="list-style-type: none">○昨年度までは郡上市教育研究会が実施する研究会に高校教員が参加していたが、今年度は開催されなかった。来年度、開催されれば参加予定。○高校における「生徒の主体的な学び」を生み出す指導についての研修会には白鳥中学校から9名の教員が参加し、ICTを活用した授業をテーマに意見交流を行った。▲新型コロナウイルス感染拡大の影響で、高校と中学校での交流が限定された。来年度はオンラインでの開催も検討しながら、交流の機会をつくっていききたい。  <p>【ICT活用授業の参観】</p>

(様式 5)

	<p>高校生による 授業支援</p>	<p>○観光・ビジネスコースの生徒が地域課題を解決する際に必要となる課題解決力、表現力を中学生が身に付ける支援を行った。 ▲オンラインを含め授業支援の実施方法や時期について検討する必要がある。</p>	 <p>【高校生から学ぶ中学生】</p>
<p>共に生きる力の育成</p>	<p>生徒交流</p>	<p>○あいさつや交通安全の呼びかけなど、同じ目的をもって活動することで、中高のつながりを実感することができた。 ○継続して取り組むことで、地域に貢献しようとする気持ちを高めることができた。 ▲登校時刻に差があるため、高校生への負担が大きい。実施の方法について検討する必要がある。</p>	 <p>【あいさつ運動】</p>
	<p>部活動交流</p>	<p>○今年は吹奏楽部の合同定期演奏会に限られたが、交流の機会をもととする試みがなされた。他の部活動では合同での活動を計画していたが、新型コロナウイルス拡大の影響で見合わせるようになった。 ▲中学校での経験を高校で活かすことができるように、部活動の連携について検討する必要がある。</p>	 <p>【演奏会】</p>
	<p>地域交流 (公民館応援隊)</p>	<p>○地域のイベントや行事に参加することを通して、地域のために役立っているという自己有用感を育むことができた。 ○生徒が企画した行事の運営に携わることを通して、充実感や満足感を得ることができた。参加する人数も増えてきた。 ▲新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を徹底していく必要がある。</p>	 <p>【地域イベント】</p>
<p>自立する力の育成</p>	<p>先輩に学ぶ会</p>	<p>○進路を実現した先輩からの「生の声」を聴くことで、本当に大切にすべきものは何かについて見つめるよい機会となった。 ○各教室で実施したため、昨年度より中学生が高校生に質問しやすい環境で行うことができ、活発に質疑応答がなされた。 ▲クラスごとによって積極性に差が出たが、今年度の形式で来年度も実施を検討する。</p>	 <p>【先輩の声】</p>
	<p>地域人に学ぶ</p>	<p>○企業が、どんな人材を求めているのか。また、社会人に求められる資質とは何かを郡上市内の企業の方から直接学ぶことができた。 ○地域人が中学校のキャリア教育に参加することで、地域に貢献する先輩の思いを学ぶことができた。 ▲さらに、郡上北高校の魅力伝えるために時期や回数、内容等を検討する必要がある。</p>	 <p>【地域の方の講話】</p>
	<p>地域に生きる</p>	<p>○Good郡上プロジェクトは、中学校での郡上学の中で取り組んできたが、今年度は郡上北高校の総合的な探究の時間にも導入した。そうしたことで地域的な課題を生徒がより深める機会にできた。 ▲中高の連携を深めるためオンラインを含めた実施方法や実施時期を今後検討していく必要がある。</p>	 <p>【探究の時間の様子】</p>

(様式 5)